

Oasa Electronics Co.,Ltd



TS500/TS550

取扱説明書

1. 安全上の注意

1. ご使用前に

お買い上げいただきまして、ありがとうございました。
本製品を正しく安全に使用いただくため、使用を開始する前に必ず、この取扱説明書の「安全上の注意」をお読みになり、十分ご理解下さい。使用方法、メンテナンスの説明も、併せてよくお読み下さるようお願い申し上げます。

2. 絵表示の表記について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。



この記号は禁止(してはいけないこと)を示しています。



この記号は行動を強制したり指示したりする内容を示しています。



この記号は注意(警告を含む)しなければならない内容を示しています。

3. 異常時の処置について



警告



万一煙が出ている、変なおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。

煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。
お客さまによる修理は危険ですから絶対おやめください。



万一内部に水や異物等が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



万一本機を落としたり、カバーを破壊した場合は、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

4. 設置について



警告



電源コードの上に重い物をのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。また、電源コードが引っ張られないようにしてください。コードが傷ついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。



本機を設置する場合には、壁から 10cm 以上の間隔をおいてください。また放熱をよくするために、他の機器との間は少し放して設置してください。ラックなどに入れる時には、本機の天面から 30cm 以上、背面から 10cm 以上、側面から 30cm 以上のすき間を開けてください。また、次のような使い方で使用しないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

- あおむけや横倒し、逆さまにする。
- 押し入れなど、風通しの悪い狭い所に押し込む。
- じゅうたんやふとんの上に置く。
- テーブルクロスなどをかける。



付属の AC アダプターはこの機器のみで使用することを目的とした専用部品です。他の電気製品ではご使用になれません。他の電気製品で使用した場合、発熱により火災・感電の原因となることがあります。また AC アダプターは本製品に付属のもの以外は使用しないでください。他の AC アダプターを使用した場合、この機器の本来の性能が出ないことや、電流量不足による発熱から火災・感電の原因となることがあります。



電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



注意



電源プラグは、根元まで差し込んでゆるみがあるコンセントには接続しないでください。発熱して火災の原因となることがあります。電気工事にコンセントの交換を依頼してください。




ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。





電源プラグは、コンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと発熱したり、ほこりが付着して火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。





移動させる場合は、電源スイッチを切り必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してから、行ってください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。


 本機を調理台や加湿器のそばなど油煙、湿気あるいはほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

 本機の上に重いものや、外枠からはみ出るような大きいものを置かないでください。バランスが崩れて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

 電源プラグを抜く時は、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。


 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。


 窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。火災の原因となることがあります。


 テレビ、オーディオ機器等に本機を接続する場合は、おのおの機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。


5. 使用環境について

警告

 この機器に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。


 風呂場、シャワー室等では使用しないでください。火災・感電の原因となります。


 表示された電源電圧（交流 100 ボルト～240 ボルト 50Hz/60Hz）以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。


 船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災の原因となります。


6. 使用方法について


警告

 本機の上に水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

 ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。


 本機のすき間などから、内部に金属類や燃えやすいものを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のご家庭ではご注意ください。


 本機のカバーを外したり、改造したりしないでください。内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。


 ACアダプターを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して火災・感電の原因となります。コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。

 雷が鳴り出したらアンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

注意


 電源スイッチを切っても、電源の供給は停止しません。電源の供給を完全に停止するためには、電源プラグをコンセントから抜く必要があります。旅行などで長期間、ご使用にならない時は安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。


 長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

 本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様はご注意ください。倒れたり、壊れたりしてけがの原因となることがあります。

7. 保守点検について

注意





 お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

 5年に一度くらいは内部の掃除を販売店などにご相談ください。内部にほこりがたまったまま、長期間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うとより効果的です。なお掃除費用については販売店などにご相談ください。

2. 準備する

8. その他の注意事項

本製品は家庭用オーディオ機器です。下記の注意事項を守ってご使用ください。

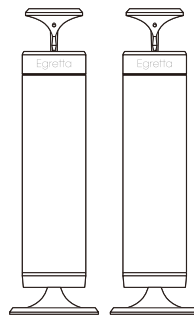
-  一般家庭用以外での使用（例：公演会場、大規模店舗などにおけるコンサートやライブ等の用途を目的とした長時間使用、車両、船舶への搭載、屋外での使用など）はしないでください。
-  音楽信号の再生を目的として設計されていますので、測定器の信号（連続波）などの増幅用には使用しないでください。
-  ハウリングで製品が故障する恐れがありますので、マイクロフォンを接続する場合はマイクロフォンをスピーカーに向けてたり、音が歪むような大音量では使用しないで下さい。
-  スピーカーの許容入力を超えるような大音量で再生しないでください。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場合によっては気になるものです。隣近所へのおもいやりを十分にいたしましょう。ステレオの音量はあなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間は小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には特に気を配りましょう。近所へ音が漏れないように窓を閉めたりするのも一つの方法です。お互いに心を配り、快適な生活環境を守りましょう。

1. 付属品の確認

TS500



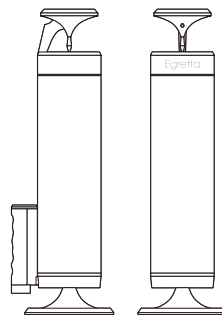
本体：2台1セット

TS500/TS550 共通

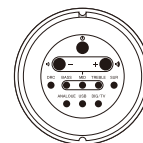


取扱説明書および保証書
(本書)：1冊

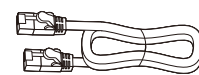
TS550



本体：左用スピーカー
入力端子付き1本
右用スピーカー1本



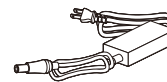
TS550 専用
リモコン：1個
内蔵電池：CR2032型



TS550 専用
スピーカーケーブル：1個



光デジタルケーブル：1本



ACアダプター：1本



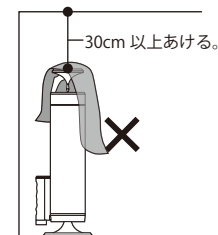
USBケーブル：1本

2. 設置について



放熱のため、本機の上に布やシートなどを被せた状態での使用は絶対におやめください。異常発熱により故障の原因となる場合があります。

ラックなどに設置する場合は、
上部に30cm以上空間をあけてください。



本機の構造上倒れると故障、破損する恐れがあります。平らなところへ設置してください。

3. 各部の名称と接続部位

TS500 パッシブスピーカータイプ

左用 / 右用スピーカーの指定はありません



スピーカー端子

外部機器 (アンプ) に接続します。
黒い端子がマイナス (-)、赤い端子がプラス (+) です。

TS550 アクティブスピーカータイプ

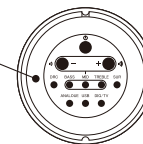
左用スピーカー

(入力端子付き)

右用スピーカー

専用リモコン

TS550 の操作はすべてリモコンで行います。



リモコン受光部

ターミナルボックス

各入力端子を搭載したボックスです。
端子接続時や、設置状況により、ターミナルボックスを取り外して使用できます。

RCA ケーブル接続端子

CD / DVD / SACD / Blu-Ray プレーヤー等とアナログ接続します。
白い端子が左 (L)、赤い端子が右 (R) です。

USB ケーブル接続端子

付属の USB ケーブル (タイプ A ~ タイプ B) で PC 等と接続します。

S/PDIF 光デジタルケーブル接続端子

付属の S/PDIF 光デジタルケーブル (TOSLINK 角型) 対応の機器と接続します。

AC アダプター接続端子

付属の専用 AC アダプターを接続します。

専用スピーカーケーブル接続端子

TS550 の 2 つのスピーカーは専用のスピーカーケーブルで接続します。



TS550 には左用スピーカー / 右用スピーカーの指定があります。取扱説明書を確認のうえ、正しく設置してください。



リモコンの受光部は左用スピーカーにのみ取り付けています。右用スピーカーにはありません。

4. 接続について

1. 各機器への接続

TS500(パッシブスピーカータイプ)とTS550(アクティブスピーカータイプ)では接続の方法が異なります。以下の説明に従い正しく接続してください。

TS500の接続方法 パッシブスピーカータイプ



9 ページを参照してください

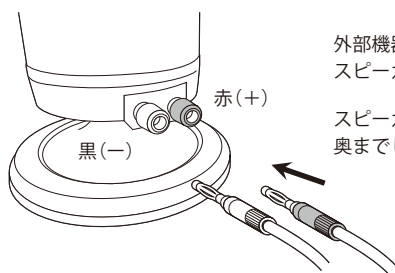
TS550の接続方法 アクティブスピーカータイプ



10 ページを参照してください

TS500の接続方法

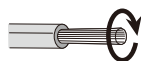
1. スピーカーコードのつなぎかた



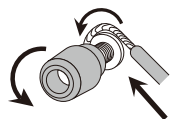
外部機器(アンプ)の電源を切り、外部機器のスピーカー端子と本機を接続してください。

スピーカー端子の+と-を間違えないように奥までしっかり差し込んでください。

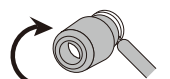
バナナプラグを使用しない場合




1. コードから線をむき出し、線をねじる




2. スピーカー端子を緩めスピーカーコードを巻きつけるように取り付ける



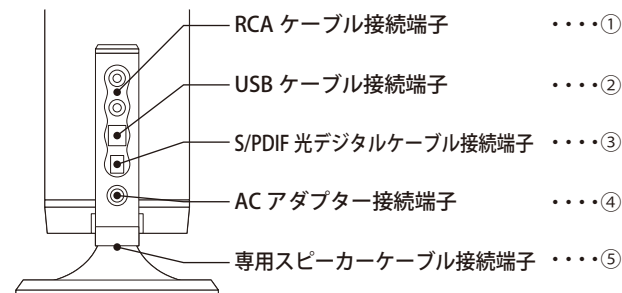
3. スピーカー端子を締め付け、スピーカーコードを固定する

 外部機器(アンプ)と本機の+および-端子どうしを正しく接続してください。(赤い端子がプラス(+)、黒い端子がマイナス(-)です)

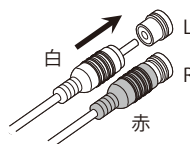
 端子からコードの芯線がはみ出して、他の芯線と触れないようにしてください。芯線どうしが触れていると音が出なくなることがあります。

TS550の接続方法

各端子のつなぎかた

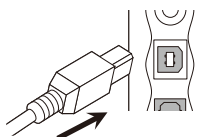


①.RCAケーブルのつなぎかた



RCAケーブルを接続します。
上部白いプラグはL(左)端子、下部赤いプラグはR(右)端子につなぎます。必ず奥まで差し込んでください。

②.USBケーブルのつなぎかた

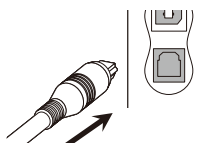


PCなどから付属のUSBケーブル(タイプA~タイプB)を接続します。専用ドライバーなどをインストールする必要なく、プラグ&プレイ有線接続に対応し、接続するだけで再生可能です。

Windows、Mac、iPadでの動作確認済、各機器の出力スピーカー設定を確認のうえ使用してください。

※iPadは専用変換コネクタが必要です。(別途Apple純正品をご購入ください)

③.S/PDIF光デジタルケーブルのつなぎかた




デジタルテレビなど、光デジタル音声出力端子がある場合、付属のS/PDIF光デジタルケーブル(TOSLINK角型)で接続します。

光デジタル音声入力端子には開閉できるフタがついています。デジタル光ケーブルを接続するときは、閉じているフタにそのままプラグを差し込んでください。

テレビと本機をS/PDIF光デジタルケーブルで接続して使用される場合…

テレビのデジタル音声出力の設定を「PCM」に設定してください。

詳しくは各機器の取扱説明書をご覧ください。

 各端子の接続はプラグを持って正しく行ってください。無理な力をかけるとケーブルが破損し、故障の原因となります。

TS550 の接続方法のつづき

④.ACアダプターのつなぎかた

すべての接続が終了したら、AC アダプターを家庭用電源コンセントに接続します。

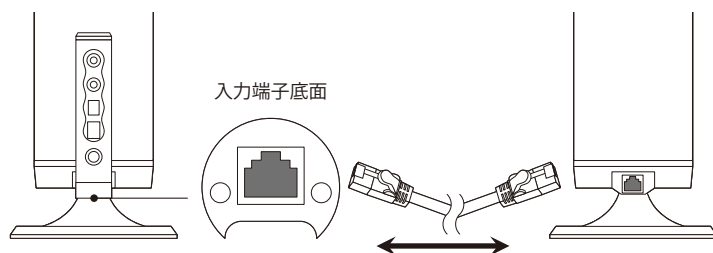
- 旅行などで長期間本機を使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- AC アダプターを抜くときは必ず本体の電源スイッチを切ってからコードを抜いてください。



付属しているアダプター以外の AC アダプターはご使用にならないでください。

⑤.専用スピーカーケーブルのつなぎかた

TS550 のスピーカー同士を接続するには専用のスピーカーケーブルを使用します。アンブ側スピーカーの入力端子底面の入力端子とスピーカー側下部接続端子をつなぎます。



専用スピーカーケーブルの交換について

左右のスピーカーの距離を延ばしたい時など、市販の LAN ケーブルと交換して使用することができます。

LAN ケーブルの仕様：10BASE-T ～ 1000BASE-T カテゴリー 4～6、長さ 5 m まで



専用スピーカーケーブル端子に TS550 以外の機器を接続しないでください。故障の原因となります。



各入力端子、接続端子の配線作業の際は必ず電源コードを抜いた状態を確認してから行ってください。

5. 操作のしかた

1. 再生手順

TS500の場合

以下の手順で再生を行って下さい。

1. 外部機器 (アンプ) の電源スイッチを切ってください。
 2. スピーカーへの配線を確実に行ってください。
 3. 外部機器の (アンプ) の電源をオンします。
 4. 外部機器の電源音楽を再生します。
 5. 外部機器 (アンプ) の出力ボリュームを調整します。
- ※詳しくは外部機器の取扱説明書をご覧ください。

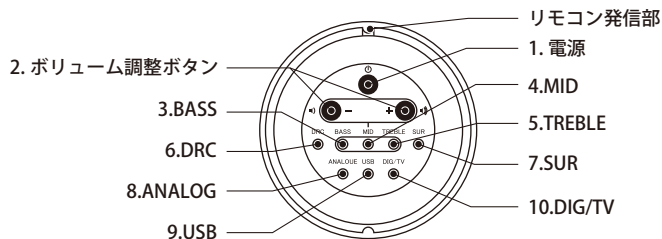
TS550の場合

以下の手順で再生を行って下さい。

1. 使用する機器に応じてオーディオケーブル入力端子、USB 端子、光デジタル端子にケーブルを接続して下さい。
2. AC アダプタを接続して下さい。
3. リモコンの電源ボタンを押すと電源が入ります。
4. リモコンの入力切り替え (ANALOG, USB, DIG/TV) を操作して入力ソースを選択してください。
5. 外部機器の音楽を再生します。
6. 音量ボタン +/- を操作して音量を調整する
音量は 0 (最小) ～ 63 (最大) の 64 段階の調整ができます。
7. リモコンで各音質調整を行い、お好みの音質へ調整してください。
(詳しくは P13. リモコンについて (TS550 のみ対応) をご覧ください)

6. リモコンについて (TS550 のみ対応)

1. 各部名称とはたらき



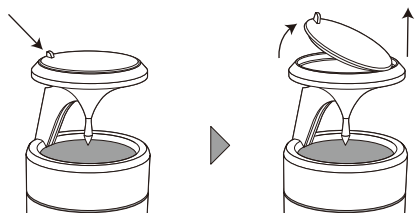
- | | | |
|---------------|----------------------------|------|
| 1.電源ボタン | ボタンを押すと電源が ON/OFF します | |
| 2.ボリューム調整ボタン | 音量の調整 (0 ~ 63) + 各種音質調整ボタン | |
| 3.BASS ボタン | 低音調整 (-8 ← 0 → +8) | 音質調整 |
| 4.MID ボタン | 中音調整 (-8 ← 0 → +8) | |
| 5.TREBLE ボタン | 高音調整 (-8 ← 0 → +8) | |
| 6.DRC ボタン | 低音の増強 ON/OFF | 入力切替 |
| 7.SUR ボタン | 音の広がり効果 ON/OFF | |
| 8.ANALOG ボタン | アナログ入力に切り替え | |
| 9.USB ボタン | USB 入力に切り替え | |
| 10.DIG/TV ボタン | 光デジタル入力に切り替え | |



リモコンは左用スピーカーのリモコン受光部に向けて操作してください。右用スピーカーにリモコン受光部はありません。

2. リモコンの取り出し方

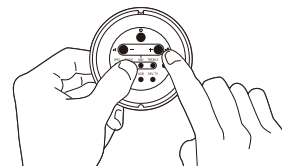
左用スピーカー (入力端子付き) の上部にリモコン取り付け部があります。奥側の凸部に指をかけた後、指を離すとリモコンが飛び出します。リモコンを使用しない際は収納することができます。



リモコンは落とさないようにしてください。
リモコンに液状のものをかけないでください。
リモコンを分解・修理しないでください。

3. 各音質の調整のしかた

BASS・MID・TREBLE の各音質調整ボタンは、調整したい音質のボタンを押しながら、ボリューム調整ボタンを押して、音質を調整します。



音質調整

低音調整



BASS ボタンを「押しながら」
音量の +/- ボタンを操作します。

中音調整



MID ボタンを「押しながら」
音量の +/- ボタンを操作します。

高音調整



TREBLE ボタンを「押しながら」
音量の +/- ボタンを操作します。

効果設定

DRC (ダイナミックレンジコントロール)

DRC



ボタンを押すと機能が ON/OFF します。
小音量時の低音不足を改善する機能です。

SUR (音のひろがり効果)

SUR



ボタンを押すと機能が ON/OFF します。
音の広がり効果を持たせる機能です。

一時的に消音 (Mute) したい時の操作 (推奨)...

消音したいときは電源ボタンを押してください。急な ON、OFF でもスムーズに音声再生され、Mute としてお使いいただけます。
また、電源ボタン OFF の時には ON の時の状態を記憶しているので、再度電源ボタン ON の時に前回の状態のまま再生が可能です。

音質の設定状態がわからなくなった時は...

各音質設定を一括で初期状態に戻すことができます。リモコンの BASS と MID と TREBLE ボタンを「同時に押す」と低音 / 中音 / 高音の各音質の設定が初期状態に戻ります。

リモコンの操作方法のつづき

4. 電源連動機能

本機は USB 入力、光デジタル入力が入力された場合は自動で電源を ON にできる機能があります。

電源連動機能 ON



TREBLE ボタンを押しながら電源ボタンを押す

電源連動機能 ON の時

- 入力切換えが USB 入力の時
USB 外部機器の信号を感知した時 (外部機器の電源 ON など)、自動で電源が ON になります。
USB 外部機器の信号がなくなると (外部機器の電源 OFF など)、5 秒後に自動で電源が OFF になります。
- 入力切換えが DGI/TV 入力の時
DGI/TV 外部機器の信号を感知した時 (外部機器の電源 ON など)、自動で電源が ON になります。
DGI/TV 外部機器の信号がなくなると (外部機器の電源 OFF など)、5 秒後に自動で電源が OFF になります。

※光デジタルケーブルの出力設定はお使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

本機の電源連動機能が ON の状態で USB ケーブル、光デジタルケーブルの外部機器が入力されているときは、リモコンで本機の電源は切れません。

電源連動機能 OFF

推奨 工場出荷時は電源連動機能は OFF 状態です。



BASS ボタンを押しながら電源ボタンを押す

- 連動機能が解消され、リモコンでの電源 ON/OFF の操作に設定されます。

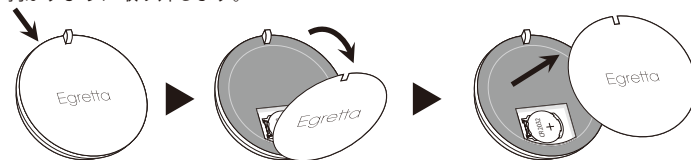
5. リモコンの電池の交換

リモコンの電池はお買い上げのときにリモコンにセットされていますが、サンプル品ですので新品の電池と同等の性能を発揮できない場合があります。電池が消耗し、リモコンの操作がしづらくなった際は電池の交換をしてください。

使用電池		コイン型リチウム電池 CR2032 型
------	--	------------------------

リモコンの電池の交換方法

1. リモコン電池カバー (操作部の裏面) を、折り曲げないように丁寧に粘着シートから剥がすように取り外します。

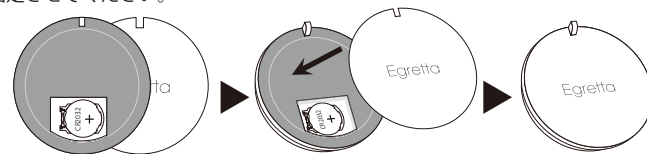


2. 古い電池を取り出し、新しい電池を (+) 表記が上になるように交換してください。

電池の取り外し方	電池の取り付け方
<p>電池を固定しているストッパーを動かし、起こすように電池をホルダーからはずします。</p>	<p>ストッパーに電池を固定し、ストッパー側に押し込みながら電池をホルダーに入れ込みます。</p>

! 電池の取付は必ずストッパーに電池を固定してから反対側を押してホルダーにはめてください。誤った手順で取り付けると電池ホルダーが破損する場合があります。

3. 電池交換後は電池カバーを元の位置に貼り合わせ、しっかり押さえて粘着シートに固定させてください。



電池カバーが付きにくくなった時は…

電池カバーは粘着シートにより固定されています。粘着が弱くなったときは電池カバーの粘着部分を水で軽く洗い、水気を乾燥させると粘着が元に戻ります。

- !** コイン型リチウム電池は小さいものになりますのでお子様の手の届かないところで保管してください。重大な事故につながる場合があります。
- !** 電池交換の際はリモコンの基板回路が見えます。触れたり衝撃を与えると故障の原因となりますので触れないようにしてください。
- !** コイン型リチウム電池を廃棄する場合は必ず端子 (+、-) をセロハンテープなど粘着性の絶縁テープで覆い、自治体の指示に従って廃棄してください。

7. 故障かな?と思ったら

故障かな?と思ったらチェックしてみてください。

ちょっとした操作ミスが故障と思われるがちです。また、本機以外の原因も考えられます。ご使用の他の機器および、同時に使用している電気機器もあわせてお調べ下さい。

以下の項目に従って再度点検されても直らないときは、お買い上げの販売店・または当社までお問い合わせ下さい。

電源が入らない

- 電源プラグがコンセントから抜けていませんか? 電源プラグを正しく差し込んで下さい。
- 電源プラグが本機の AC アダプター端子から抜けていませんか? 電源プラグを正しく差し込んで下さい。
- 本機や接続外部機器の電源が ON になっていますか?

音が出ない/雑音が出る

- 接続コードが端子から外れている。または、間違えて接続されていませんか? 確実に接続して下さい。
- 端子や接続コードのプラグが汚れていませんか? 端子や接続コードのプラグの汚れを拭きとって下さい。
- 本機の入力切り替えは再生している機器とあっていますか? 正しく切り換えて下さい。(オーディオケーブル入力、USB ケーブル入力、光デジタルケーブル入力)
- 長時間大音量の再生を行なうと本機の保護機能が作動します。原因を確認した後、電源スイッチを入れ直して下さい。
- テレビのデジタル音声出力を「PCM」に設定して下さい。詳しくはお使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

片方のスピーカーから音が出ない

- スピーカーコードの片方が外れていませんか? 確実に接続して下さい。それでも片方のスピーカーから音が出ない場合は、接続コードやスピーカーコードが断線していないか確認して下さい。

リモコンが動作しない

- リモコンの電池はお買い上げのときにリモコンにセットされていますが、サンプル品ですので新品の電池と同等の性能を発揮できない場合があります。
- リモコンの電池がなくなっていますか? 新しい電池に交換してください。
- 本機から離れた場所で操作していませんか。リモコン受光部との距離が 6m 以内の距離で操作してください。
- リモコンの信号を遮る障害物がないか確認してください。

静電気など、外部からの影響により本機が正常に動作しないことがあります。

このような時は、電源スイッチを一度切り、再び電源スイッチを入れることで正常動作になる場合があります。これで解決しないときは、お買い上げの販売店または当社にご相談ください。

また、長年ご使用に際し、下記のような症状が見られましたら、故障や事故防止のためすぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、販売店または当社に点検をご依頼ください。

- 電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。
- 電源コードに裂け目やひび割れがある。
- 電気が入ったり切れたりする。
- 本体から異常な音、熱、臭いがする。

8. 製品のお手入れについて

- 本機のお手入れを行う際は、必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 汚れやほこりは、やわらかい乾いた布でふき取ってください。
- 汚れがひどいときは、水にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。
- お手入れの際は、ベンジン、シンナー、アルコール等の溶剤、または台所用洗剤は使用しないでください。
これらの溶液を使用すると、外装ケースが変質するおそれがあります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

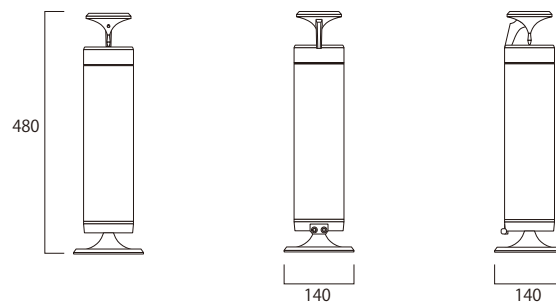
9. 仕様

TS500

使用ユニット	8cm フェーズプラグ付き 竹繊維コンポジットコーン
インピーダンス	8Ω
標準入力	12W
最大入力	25W
出力音圧	86 dB/W/m
周波数特性	50Hz ~ 22000Hz
質量	2.5kg(1本あたり)

仕様は予告なく変更することがあります。

外形寸法図



10. 保証とアフターサービス

1. 保証・修理について

- 保証書は取扱説明書と併載しています。内容をよくお読みの上大切に保管してください。
- 保証期間はお買い上げいただいた日より1年間です。
- 保障期間中に正常な使用状態において、万一故障した場合無料で修理いたします。
- 保障期間中の修理など不明な点がありましたら、窓口までお問い合わせ下さい。
- 保障期間経過後の修理については窓口へご相談下さい。修理すれば機能が維持できる場合にはお客様のご要望により有償修理致します。

2. お客様窓口

オオアサ電子株式会社 〒731-2104 広島県山県郡北広島町大朝 3817-10
 Egretta サイトお問い合わせフォーム
<http://www.egretta.jp/inquiry>
 Egretta サポートセンター
 ■TEL：0826-82-7066 ■FAX：0826-82-7066
 ■受付時間：10：00～12：00/13：00～17：00
 (土、日、祝日及び弊社指定の休業日は除く)
 ■e-mail：info@egretta.jp

■保証書

■品名	<input type="checkbox"/> TS500 <input type="checkbox"/> TS550
■お買い上げ日	年 月 日
■保証期間	お買い上げ日から1年間
■お客様	ご住所：〒 —
	お名前：
	TEL：
■販売店	

※個人情報の取り扱いについて

保証書にご記入いただきました個人情報(住所・氏名・電話番号)につきまして、以下の通りに取扱いいたします。

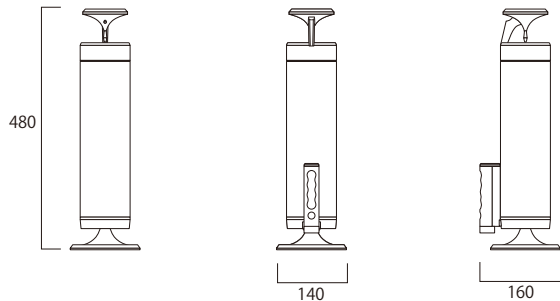
利用目的：記載された個人情報は本製品にかかわる業務においてのみ利用します。

TS550

使用ユニット	8cm フェーズプラグ付き 竹繊維コンポジットコーン
最大出力	10W+10W
周波数特性	50Hz～22000Hz
入力	アナログ RCA 1系統 USB Audio Class1.0 1系統 光デジタル(TOSLINK角型) 1系統
消費電力(アンプ部)	電源電圧 12V DC 消費電力 最大 21W(最大音量時) 待機電力 0.035W(アンプ電源オフ時)
消費電力(リモコン部)	電源電圧 3V DC
質量	使用電池 CR2032 1個 5.5kg(左右2本計、リモコン含む)

仕様は予告なく変更することがあります。

外形寸法図



iPad/Mac は、米国および他の諸国で登録された Apple Inc. の商標です。

Windows は米国 Microsoft 社の商標です。

TOSLINK は東芝半導体の商標です。

S/PDIF は SONY および Philips 社の商標です。